

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 24 年 2 月 16 日 (2012.2.16)

【公開番号】特開 2009-263345 (P2009-263345A)

【公開日】平成 21 年 11 月 12 日 (2009.11.12)

【年通号数】公開・登録公報 2009-045

【出願番号】特願 2009-72838 (P2009-72838)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/04 (2006.01)

A 0 1 P 3/00 (2006.01)

A 0 1 N 43/50 (2006.01)

A 0 1 N 43/40 (2006.01)

A 0 1 N 43/653 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/04 1 0 2

A 0 1 P 3/00

A 0 1 N 43/50 M

A 0 1 N 43/40 1 0 1 J

A 0 1 N 43/653 N

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 12 月 22 日 (2011.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) 水難溶性の農薬の有効成分化合物、(b) オルガノシリコン系界面活性剤、(c) 粘度軽減剤、(d) 消泡剤、(e) pH 調整剤及び (f) 分散剤から成ることを特徴とする農薬水性懸濁剤組成物。

【請求項 2】

(a) 水難溶性の農薬の有効成分化合物と、(b) オルガノシリコン系界面活性剤の配合比が、重量比で 1 : 5000 ~ 100 : 1 であることを特徴とする請求項 1 に記載の農薬水性懸濁剤組成物。

【請求項 3】

水難溶性の農薬の有効成分化合物が、水難溶性の殺菌剤の有効成分化合物である請求項 1 又は 2 に記載の農薬水性懸濁剤組成物。

【請求項 4】

水難溶性の殺菌剤の有効成分化合物が、シアゾファミドである請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

(c) 粘度軽減剤が、2 価アルコール及び / 又はポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤であることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 6】

(c) 粘度軽減剤が、2 価アルコール及びポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤であることを特徴とする請求項 5 に記載の組成物。

【請求項 7】

2 価アルコールがプロピレングリコールであり、ポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤がポリオキシエチレントリスチリルフェニルエーテルリン酸エステルカリウム塩であることを特徴とする請求項 5 又は 6 に記載の組成物。

【請求項 8】

(d) 消泡剤の有効成分がポリジメチルシロキサンであることを特徴とする請求項 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 9】

(e) pH調整剤により、組成物のpHを 6 ~ 8 に調製し、(b) オルガノシリコーン系界面活性剤を安定化させることを特徴とする請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の組成物。

【請求項 10】

(a) 水難溶性の農薬の有効成分化合物、(b) オルガノシリコーン系界面活性剤、(d) 消泡剤、(e) pH調整剤及び(f) 分散剤から成る農薬水性懸濁剤組成物の粘度を、(c) 粘度軽減剤を用いて軽減する方法。

【請求項 11】

(c) 粘度軽減剤が、2 価アルコール及び / 又はポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤であることを特徴とする請求項 10 に記載の方法。

【請求項 12】

(c) 粘度軽減剤が、2 価アルコール及びポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤であることを特徴とする請求項 11 に記載の方法。

【請求項 13】

2 価アルコールがプロピレングリコールであり、ポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤がポリオキシエチレントリスチリルフェニルエーテルリン酸エステルカリウム塩であることを特徴とする請求項 11 又は 12 に記載の方法。

【請求項 14】

水難溶性の農薬の有効成分化合物が、水難溶性の殺菌剤の有効成分化合物である請求項 10 ~ 13 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 15】

水難溶性の殺菌剤の有効成分化合物が、シアゾファミドである請求項 14 に記載の方法。

【請求項 16】

(a) 水難溶性の農薬の有効成分化合物、(b) オルガノシリコーン系界面活性剤、(c) 粘度軽減剤、(e) pH調整剤及び(f) 分散剤から成る農薬水性懸濁剤組成物の水希釈時の起泡性を、(d) 消泡剤を用いて軽減する方法。

【請求項 17】

(d) 消泡剤の有効成分がポリジメチルシロキサンであることを特徴とする請求項 16 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 18】

(c) 粘度軽減剤が、2 価アルコール及び / 又はポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤であることを特徴とする請求項 16 又は 17 に記載の方法。

【請求項 19】

(c) 粘度軽減剤が、2 価アルコール及びポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤であることを特徴とする請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

2 価アルコールがプロピレングリコールであり、ポリオキシエチレンスチリルフェニルエーテル系陰イオン界面活性剤がポリオキシエチレントリスチリルフェニルエーテルリン酸エステルカリウム塩であることを特徴とする請求項 18 又は 19 に記載の方法。

【請求項 21】

水難溶性の農薬の有効成分化合物が、水難溶性の殺菌剤の有効成分化合物である請求項 16 ~ 20 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 22】

水難溶性の殺菌剤の有効成分化合物が、シアゾファミドである請求項 21 に記載の方法。